

令和4年度第3四半期
厚生年金保険給付組合積立金 運用状況

 警察共済組合

目 次

1	令和4年度 運用実績概要（第3四半期）	2
2	令和4年度 市場環境	3
3	令和4年度 資産構成割合	5
4	令和4年度 運用利回り	6
	（参考）令和3年度 運用利回り	7
5	令和4年度 運用収入の額	8
	（参考）令和3年度 運用収入の額	9
6	令和4年度 資産の額	10
	（参考）令和3年度 資産の額	11
7	資金運用に係る用語の解説	12



1 令和4年度 運用実績概要 (第3四半期)

運用収益額	▲ 1 5 8 億円	※総合収益額
	+ 1 7 9 億円	※実現収益額
運用利回り	▲ 0 . 9 0 %	※修正総合収益率
	+ 1 . 2 1 %	※実現収益率
運用資産残高	1 兆 7 , 2 4 4 億円	※時価総額

※ 年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要ですが、運用に対する組合員等の理解を促進するため、また、情報公開による透明性確保の観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。
総合収益額は、各期末時点での時価に基づく評価であるため、評価損益を含んでおり、市場の動向によって変化するものであることに留意が必要です。

(注1) 収益額及び収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



2 令和4年度 市場環境①

【各市場の動き：令和4年10月～令和4年12月】

国内債券：10年国債利回りは、上昇しました。

12月に日本銀行がイールドカーブコントロールにおける10年国債利回りの許容変動幅の上限を0.5%に拡大したことを受けて、長期金利は上昇しました。

国内株式：国内株式市場は、上昇しました。

10月・11月には海外株高を追い風に上昇しましたが、12月には世界景気の減速懸念から下落しました。

外国債券：10年国債利回りは、米国、ドイツともに上昇しました。

米国10年債利回りは、FOMCで利上げの最終到達点見通しが予想以上に引き上げられたことを受け、上昇しました。

ドイツ10年債利回りは、ECBが大幅利上げ継続の方針を示したことから、上昇しました。

外国株式：外国株式市場は、米国、ドイツともに上昇しました。

米国株式は、10月・11月にはFRBの利上げペース減速期待から上昇しましたが、12月には金融引き締めが長期化するとの見方や景気後退による業績懸念が強まったことを嫌気して、下落しました。

欧州株式は、10月・11月には英新政権による減税案撤回やエネルギー供給不安の後退から上昇しましたが、12月にはECBの大幅利上げによる景気悪化が懸念され、下落しました。

ベンチマーク収益率

		第3四半期
国内債券	NOMURA-BPI総合	-1.88%
国内株式	TOPIX: 配当込	3.26%
外国債券	WGBI: 除日本、中国 ヘッジなし	-5.81%
	WGBI: 除日本、中国 ヘッジあり	-1.16%
外国株式	MSCI ACWI: 除日本 配当込	-0.01%

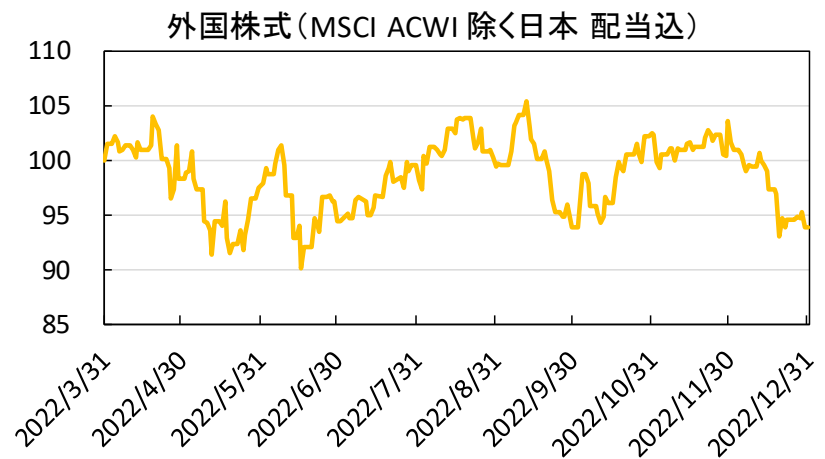
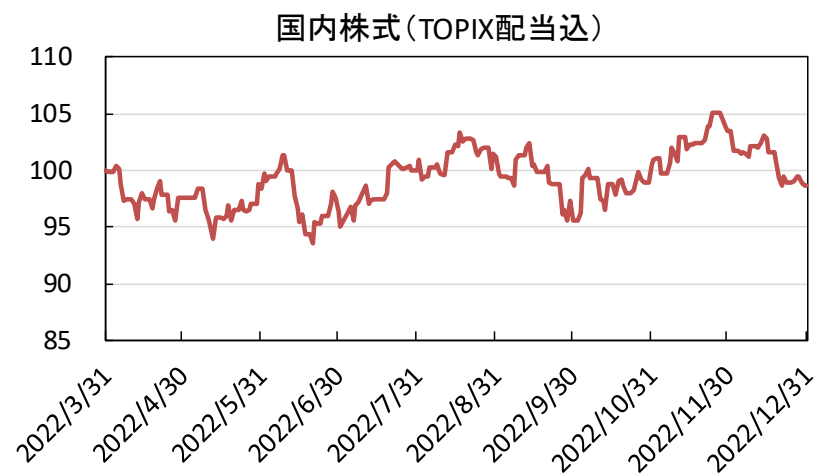
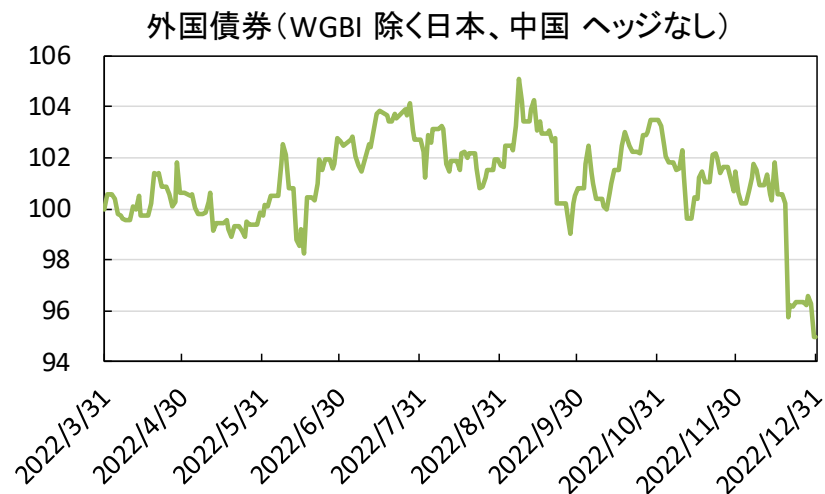
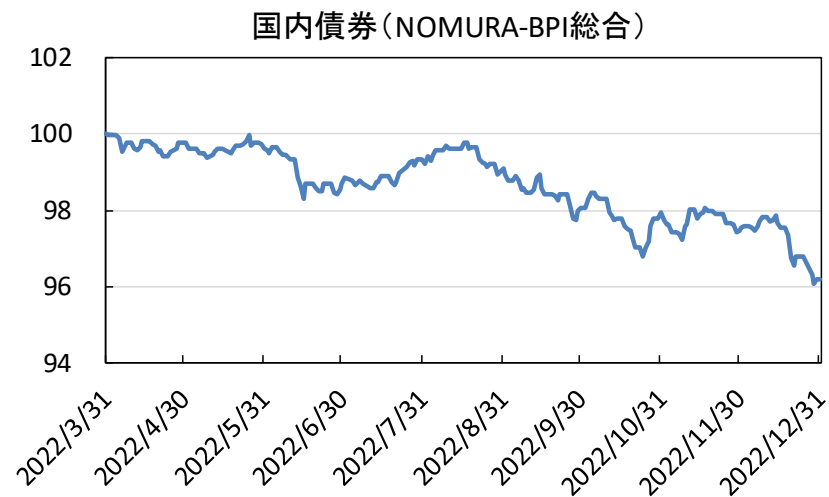
参考指標

		令和4年9月末	令和4年10月末	令和4年11月末	令和4年12月末
国内債券	10年国債利回り(%)	0.24	0.25	0.25	0.42
国内株式	TOPIX配当なし(ポイント)	1835.94	1929.43	1985.57	1891.71
	日経平均株価(円)	25937.21	27587.46	27968.99	26094.50
外国債券	米国10年国債利回り(%)	3.83	4.05	3.61	3.87
	ドイツ10年国債利回り(%)	2.11	2.14	1.93	2.57
外国株式	NYダウ(ドル)	28725.51	32732.95	34589.77	33147.25
	独DAX(ポイント)	12114.36	13253.74	14397.04	13923.59
外国為替	ドル/円(円)	144.75	148.64	139.54	131.95
	ユーロ/円(円)	141.80	146.90	143.68	140.82



2 令和4年度 市場環境②

【ベンチマークインデックスの推移：令和4年4月～令和4年12月（令和4年3月末=100）】



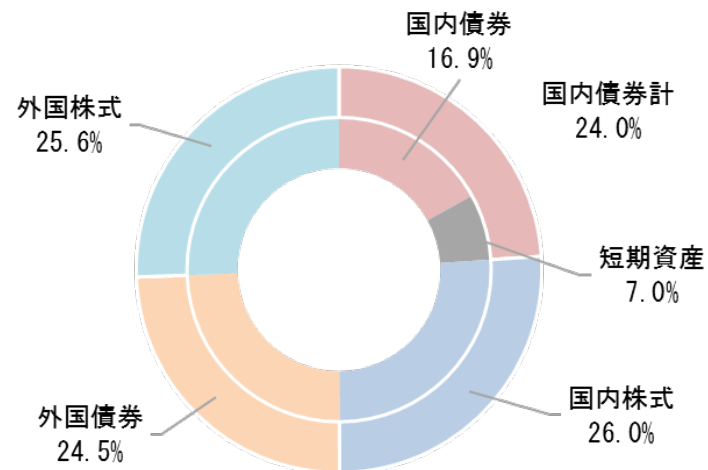
3 令和4年度 資産構成割合

積立金全体の資産ごとの構成割合は次のとおりです。

(単位：%)

	令和3年度 年度末	令和4年度			
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券	22.6	22.6	24.7	24.0	—
短期資産	5.6	5.2	7.7	7.0	—
国内株式	25.4	25.4	24.8	26.0	—
外国債券	24.3	26.3	25.4	24.5	—
外国株式	27.7	25.7	25.1	25.6	—
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	—

当該四半期末 運用資産別の構成割合



- (注1) 基本ポートフォリオは、国内債券25% (±10%)、国内株式25% (±12%)、外国債券25% (±9%)、外国株式25% (±11%)です。括弧内は許容乖離幅を表しています。
- (注2) ヘッジ付き外貨建て債券は、国内債券に含めています。
- (注3) 数値を四捨五入しているため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
- (注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。
- (注5) 表中の短期資産は決済用資金及び自家運用の短期資産を表し、国内債券に含めています。
なお、委託運用の各ファンドで保有する短期資産は、原則として該当資産区分に計上しています。



4 令和4年度 運用利回り

第3四半期の実現収益率は1.21%となり、修正総合収益率（期間収益率）は▲0.90%となりました。

資産全体の収益率

（単位：％）

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	2.18	1.14	1.21	—	4.51
修正総合収益率	▲2.14	▲0.86	▲0.90	—	▲3.80

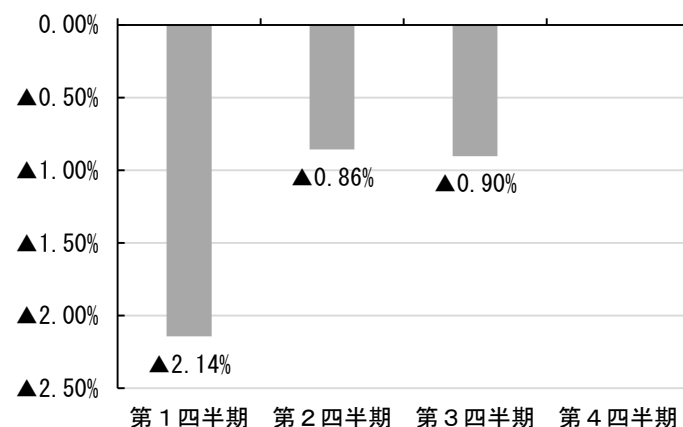
資産別の修正総合収益率

（単位：％）

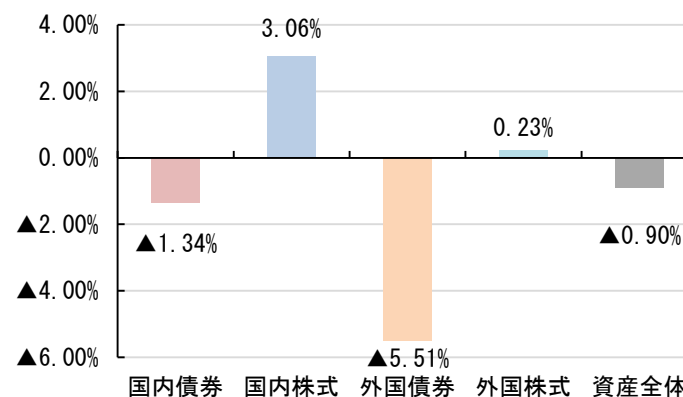
	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
国内債券	▲1.31	▲0.60	▲1.34	—	▲3.25
短期資産	0.00	0.00	0.00	—	0.01
国内株式	▲4.01	▲0.65	3.06	—	▲1.66
外国債券	2.66	▲1.59	▲5.51	—	▲4.57
外国株式	▲5.29	▲0.54	0.23	—	▲5.56

- (注1) 各四半期及び年度計は、期間収益率です。
 (注2) 収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
 (注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
 (注4) ヘッジ付き外貨建て債券は、国内債券に含めています。
 (注5) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。
 (注6) 表中の短期資産は決済用資金及び自家運用の短期資産を表し、国内債券に含めています。
 なお、委託運用の各ファンドで保有する短期資産は、原則として該当資産区分に計上しています。

資産全体の修正総合収益率



当該四半期の資産別の修正総合収益率



(参考) 令和3年度 運用利回り

資産全体の収益率

(単位：%)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	1.94	1.21	2.98	1.41	7.56
修正総合収益率	2.86	0.98	3.07	▲1.36	5.52

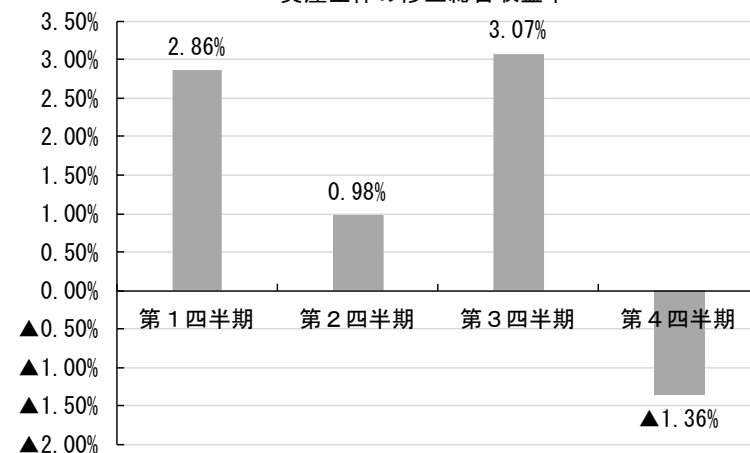
資産別の修正総合収益率

(単位：%)

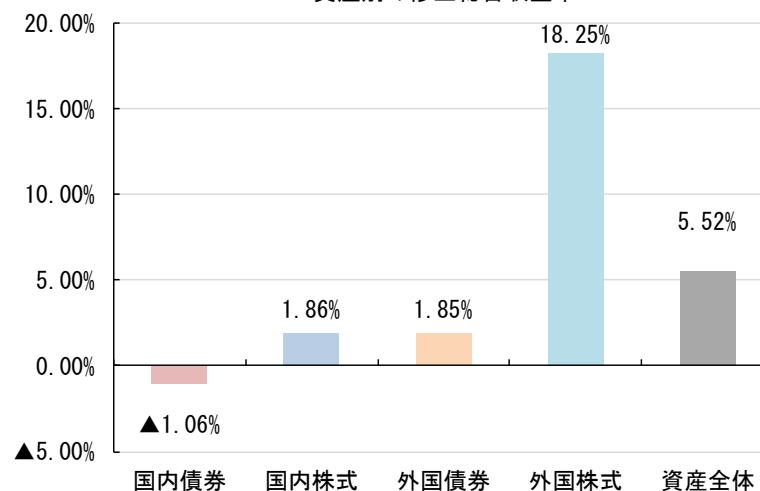
	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
国内債券	0.45	0.06	▲0.08	▲1.49	▲1.06
短期資産	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
国内株式	0.07	5.36	▲1.68	▲1.68	1.86
外国債券	1.78	▲0.88	2.47	▲1.34	1.85
外国株式	8.58	▲0.73	11.12	▲0.95	18.25

- (注1) 各四半期及び年度計は、期間収益率です。
 (注2) 収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
 (注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
 (注4) ヘッジ付き外貨建て債券は、国内債券に含めています。
 (注5) 表中の短期資産は決済用資金及び自家運用の短期資産を表し、国内債券に含めています。
 なお、委託運用の各ファンドで保有する短期資産は、原則として該当資産区分に計上しています。

資産全体の修正総合収益率



資産別の修正総合収益率



5 令和4年度 運用収入の額

第3四半期の実現収益額は179億円となり、総合収益額は▲158億円となりました。

資産全体の収益額

(単位：億円)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	309	167	179	—	655
総合収益額	▲380	▲149	▲158	—	▲687

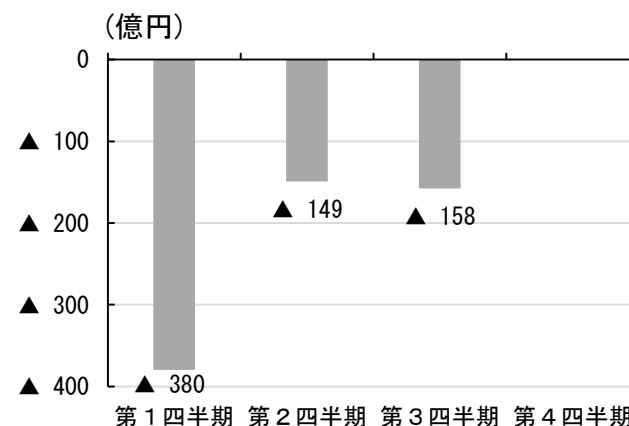
資産別の総合収益額

(単位：億円)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
国内債券	▲50	▲24	▲56	—	▲130
短期資産	0	0	0	—	0
国内株式	▲183	▲28	135	—	▲77
外国債券	116	▲72	▲247	—	▲203
外国株式	▲263	▲24	10	—	▲276

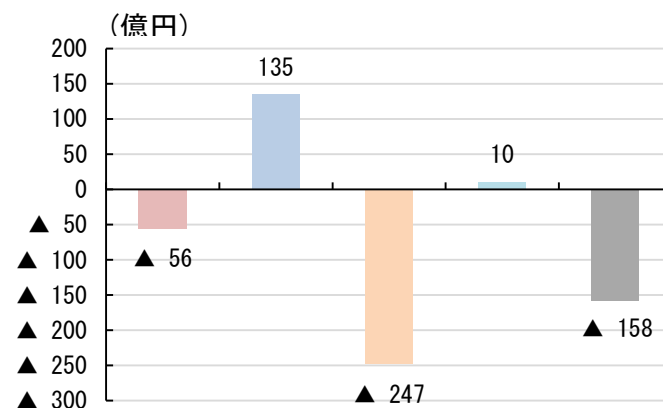
- (注1) 収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
 (注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
 (注3) ヘッジ付き外貨建て債券は、国内債券に含めています。
 (注4) 数値を四捨五入しているため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
 (注5) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。
 (注6) 表中の短期資産は決済用資金及び自家運用の短期資産を表し、国内債券に含めています。
 なお、委託運用の各ファンドで保有する短期資産は、原則として該当資産区分に計上しています。

資産全体の総合収益額



第1四半期 第2四半期 第3四半期 第4四半期

当該四半期の資産別の総合収益額



国内債券 国内株式 外国債券 外国株式 資産全体

(参考) 令和3年度 運用収入の額

資産全体の収益額

(単位：億円)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	263	168	422	203	1,056
総合収益額	492	173	555	▲250	970

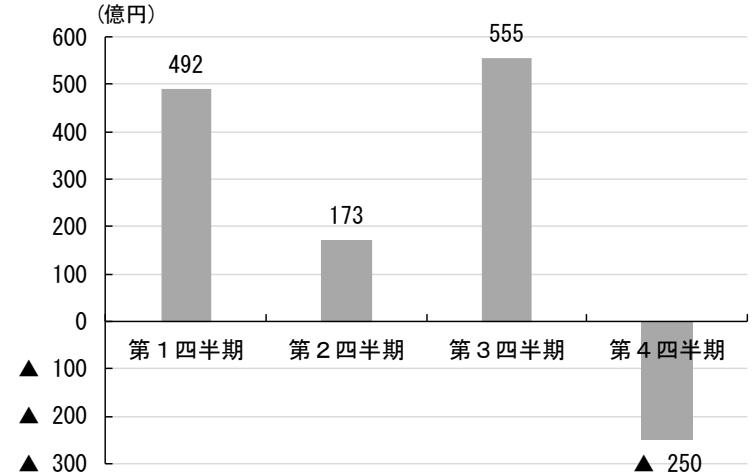
資産別の総合収益額

(単位：億円)

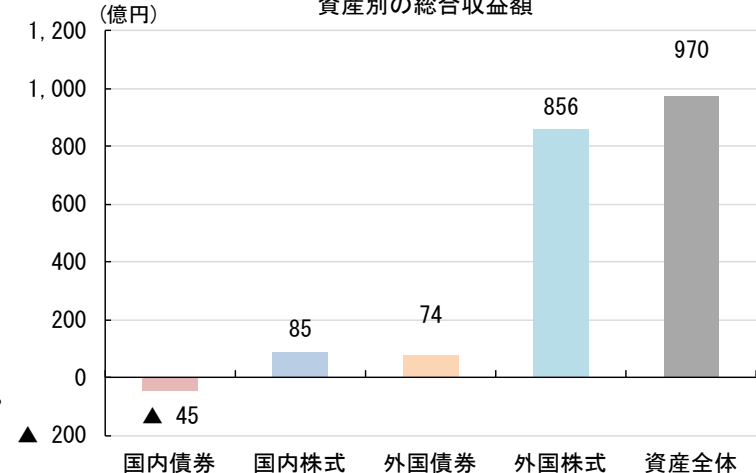
	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
国内債券	19	2	▲4	▲63	▲45
短期資産	0	0	0	0	0
国内株式	3	241	▲80	▲79	85
外国債券	67	▲35	101	▲60	74
外国株式	402	▲36	538	▲48	856

- (注1) 収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
 (注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
 (注3) ヘッジ付き外貨建て債券は、国内債券に含めています。
 (注4) 数値を四捨五入しているため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
 (注5) 表中の短期資産は決済用資金及び自家運用の短期資産を表し、国内債券に含めています。
 なお、委託運用の各ファンドで保有する短期資産は、原則として該当資産区分に計上しています。

資産全体の総合収益額



資産別の総合収益額



6 令和4年度 資産の額

(単位：億円)

	令和4年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	3,900	3,892	▲8	4,358	4,327	▲31	4,213	4,130	▲83	—	—	—
短期資産	895	895	0	1,354	1,354	0	1,211	1,211	0	—	—	—
国内株式	3,364	4,379	1,014	3,387	4,350	963	3,492	4,485	993	—	—	—
外国債券	4,308	4,523	215	4,360	4,450	91	4,420	4,218	▲202	—	—	—
外国株式	2,768	4,424	1,656	2,821	4,400	1,579	2,895	4,411	1,516	—	—	—
合計	14,340	17,218	2,877	14,926	17,528	2,602	15,019	17,244	2,224	—	—	—

(注1) ヘッジ付き外貨建て債券は、国内債券に含めています。

(注2) 数値を四捨五入しているため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注3) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(注4) 表中の短期資産は決済用資金及び自家運用の短期資産を表し、国内債券に含めています。
なお、委託運用の各ファンドで保有する短期資産は、原則として該当資産区分に計上しています。

(注5) 時価には、未収収益が含まれています。



(参考) 令和3年度 資産の額

(単位：億円)

	令和3年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	4,068	4,157	89	4,487	4,567	80	4,236	4,310	73	4,025	4,045	20
短期資産	1,045	1,045	0	1,452	1,452	0	1,199	1,199	0	998	998	0
国内株式	3,070	4,477	1,407	3,111	4,718	1,607	3,247	4,640	1,392	3,323	4,561	1,239
外国債券	3,707	3,919	213	3,727	3,885	158	4,183	4,416	233	4,231	4,357	125
外国株式	2,777	4,943	2,166	2,839	4,907	2,068	2,700	5,015	2,315	2,828	4,967	2,139
合計	13,622	17,497	3,875	14,164	18,077	3,913	14,367	18,381	4,014	14,407	17,930	3,523

- (注1) ヘッジ付き外貨建て債券は、国内債券に含めています。
- (注2) 数値を四捨五入しているため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
- (注3) 表中の短期資産は決済用資金及び自家運用の短期資産を表し、国内債券に含めています。
なお、委託運用の各ファンドで保有する短期資産は、原則として該当する資産区分に計上しています。
- (注4) 時価には、未収収益が含まれています。



7 資金運用に係る用語の解説

○ 基本ポートフォリオ

統計的な手法により定めた、最適と考えられる資産構成割合（時価ベース）です。

○ 許容乖離幅

資産構成比が基本ポートフォリオから乖離した場合には、資産の入替え等を行い乖離を解消することとなります。しかし、時価の変動等により小規模な乖離が生じるたびに入替えを行うことは、売買コストの面等から非効率であるため、基本ポートフォリオからの乖離を許容する範囲を定めており、これを許容乖離幅といいます。

○ 修正総合収益率

運用成果を測定する尺度の1つです。実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加味し、時価に基づく収益を把握するための時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。

（計算式）

$$\text{修正総合収益率} = (\text{売買損益} + \text{利息} \cdot \text{配当金収入} + \text{未収収益増減} + \text{評価損益増減}) \\ \div (\text{簿価平均残高} + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益})$$

○ 実現収益率

運用成果を測定する尺度の1つです。売買損益及び利息・配当金収入等の実現収益額を簿価平均残高で除した簿価ベースの比率です。

○ 総合収益額

実現収益額に加え資産の時価評価による評価損益を加味することにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。

（計算式） 総合収益額 = 売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益増減 + 評価損益増減



○ ベンチマーク

運用成果を評価する際に、相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指数を使用しています。当組合で採用している各資産のベンチマークは以下のとおりです。

1 国内債券

NOMURA-BPI総合【野村證券が作成・発表している国内債券市場のベンチマークです。】

2 国内株式

TOPIX（配当込み）【東京証券取引所が作成・発表している国内株式のベンチマークです。】

3 外国債券

FTSE世界国債インデックス（除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース）

【FTSE Fixed Income LLCが作成・公表している外国債券のベンチマークです。】

4 外国株式

MSCI ACWI（除く日本、円ベース、配当込み）【MSCI Incが作成する日本を除く先進国及び新興国で構成された株式のベンチマークです。】

○ ベンチマーク収益率

ベンチマークの騰落率。いわゆる市場平均収益率のことです。

